「未来高岡」ステップアップトーク（赤丸地区）会議記録　＜要旨＞

１、日　時　　平成 28 年 11 月 30 日（水）　午後 7 時 30 分から 8 時 30 分
２、場　所　　赤丸公民館
３、出席者　　市民 29 名（うち女性 10 名）
　　高岡市　　市長、経営企画部政策監、広報統計課長
４、会議次第
　（1）　高岡市総合計画基本構想の紹介
　（2）　参加者との意見交換

・・・

市長

・「越中福岡の菅笠製作技術」「菅笠問屋の町並み」として日本遺産に認定されたこともあり、ここ数年で菅笠がクローズアップされるようになった。研修を行うなど若い担い手づくりを進めたい。

参加者

・広域的にイノシシ対策について取り組んでほしい。高岡広域エコ・クリーンセンターでイノシシの焼却処分を始めるという報道を見たが、イノシシを持ち込むのは生産組合ではなく各自治会とのことだった。処理開始時までには各自治会長に制度の周知徹底をお願いしたい。

市長

・イノシシの個体数を減らすため県とも協議のうえ取り組みを進めている。処分が埋却か焼却しか方法がなく負担であるという意見があったため、今後は高岡広域エコ・クリーンセンターで焼却処分ができるようにしたいと考えている。イノシシの持ち込み方法など具体的な仕組みはこれから検討するが、実施の際は幅広く周知したい。

参加者

・来年４月から高岡市議会に第三者機関を設置するという報道を見たが、第三者機関の設置には市の予算措置が必要なため、市民の税金を使うことになるので市民の理解が必要とのことだった。第三者機関は議長のもとに置くのだから、設置費用は議会が払うべきではないか。

市長

・市議会の第三者委員会や政務活動費については、議会が自ら改革の議論を進めている。議会の予算も市の予算であり、市民の税金を投入していることになる。まずは議会の改革に関する議論の結果を見て、予算関係も含めて整理したい。